

はんぺん





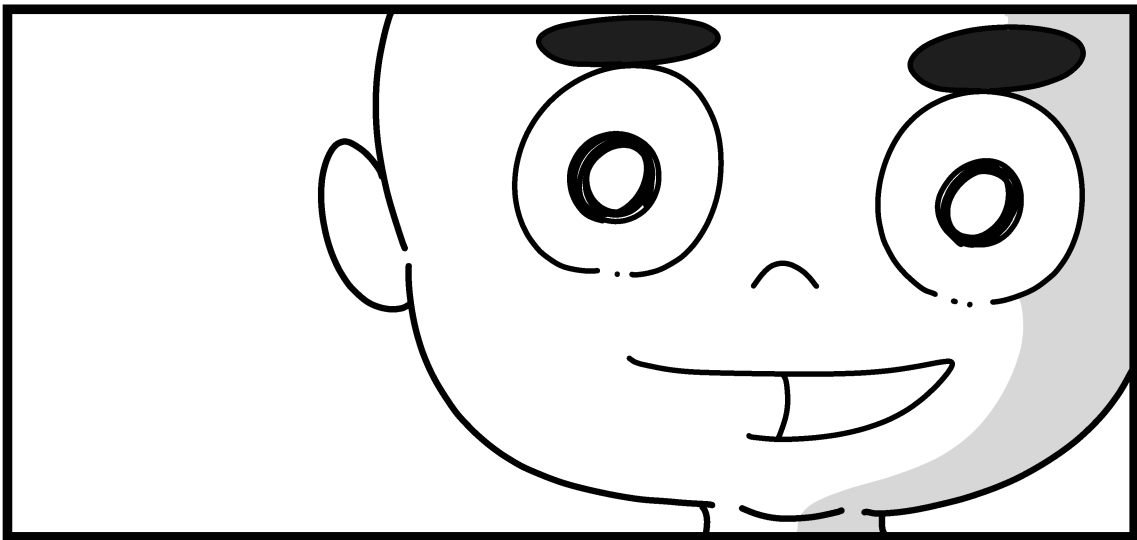
はんぺん

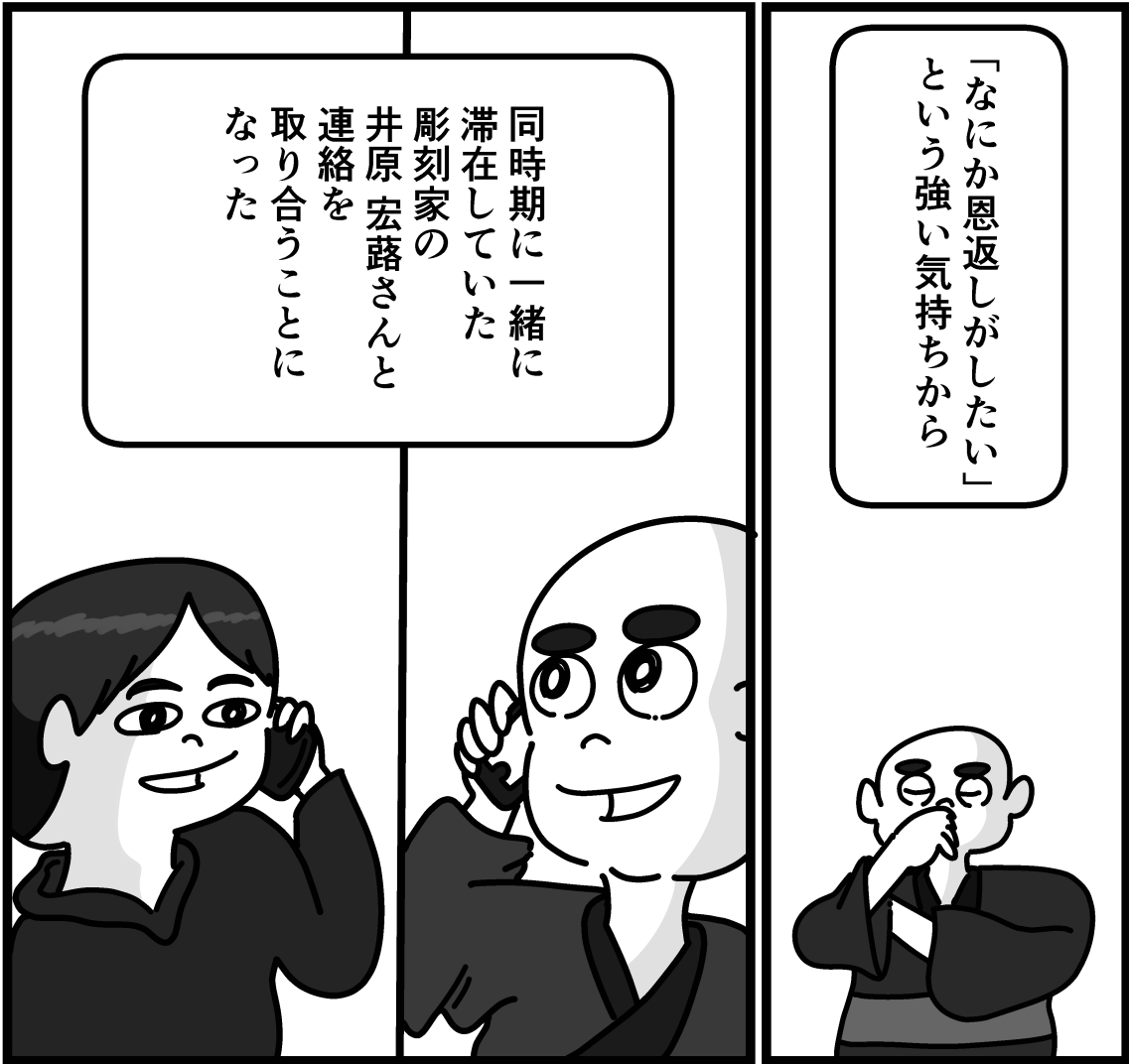
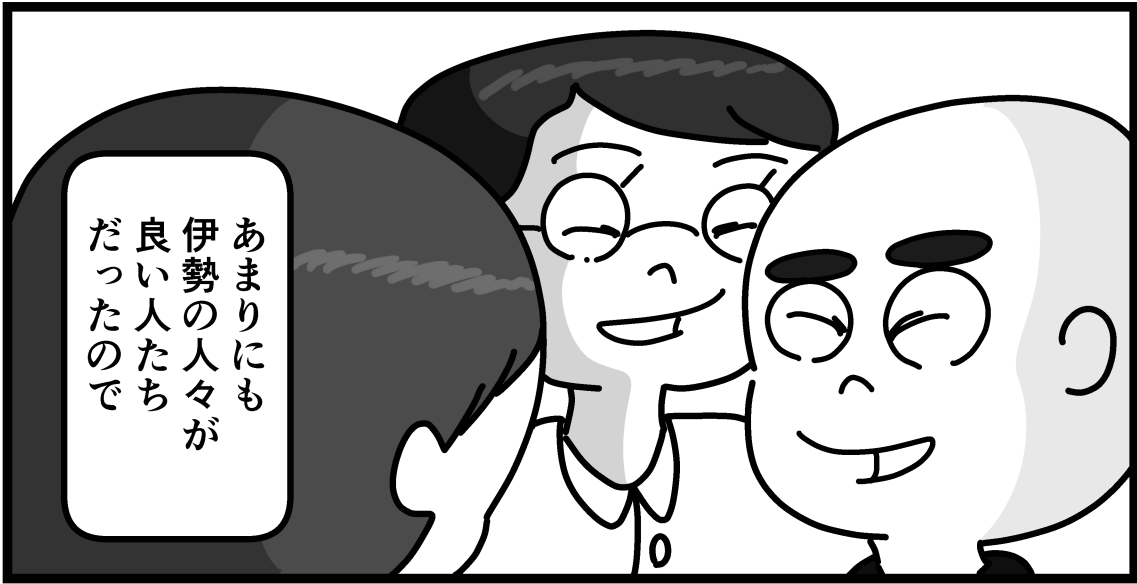
広大な海へと静かに降りてゆく清らかな水

それは山からの贈り物である

この贈り物によつて、豊かな海の世界は始まる

2020年12月  
伊勢市クリエイターズ  
ワーケーション  
促進事業に  
参加することになった



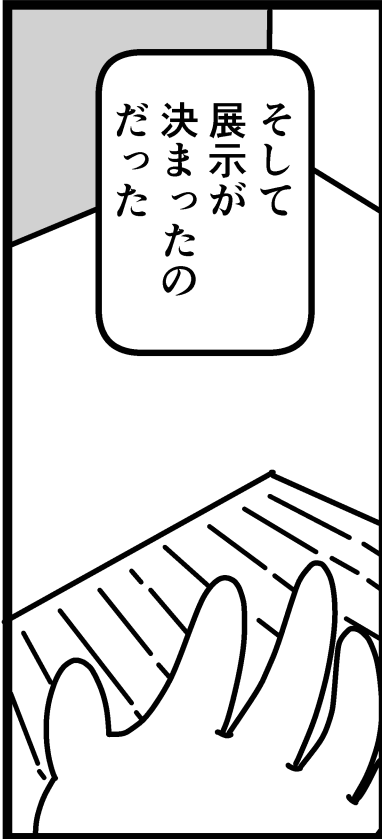




市役所の方々と  
沢山お話しした



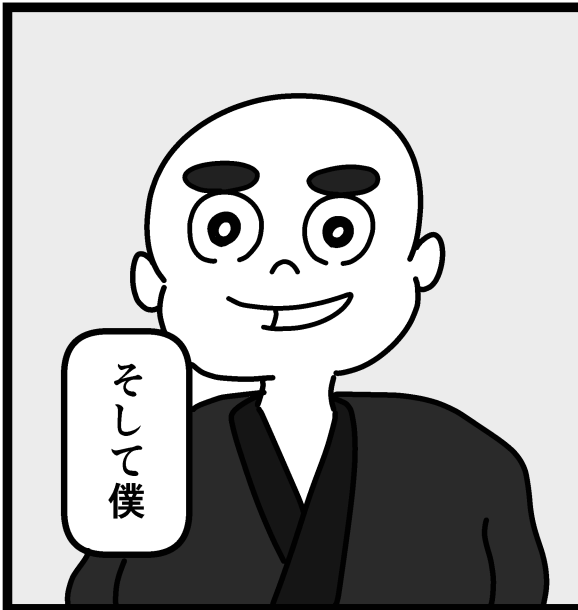
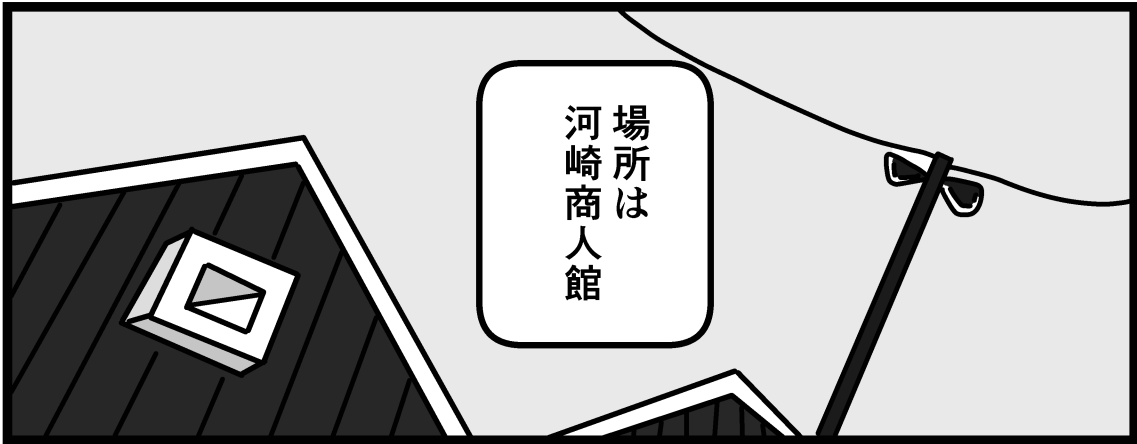
その後  
何度か伊勢に  
訪れること  
になり



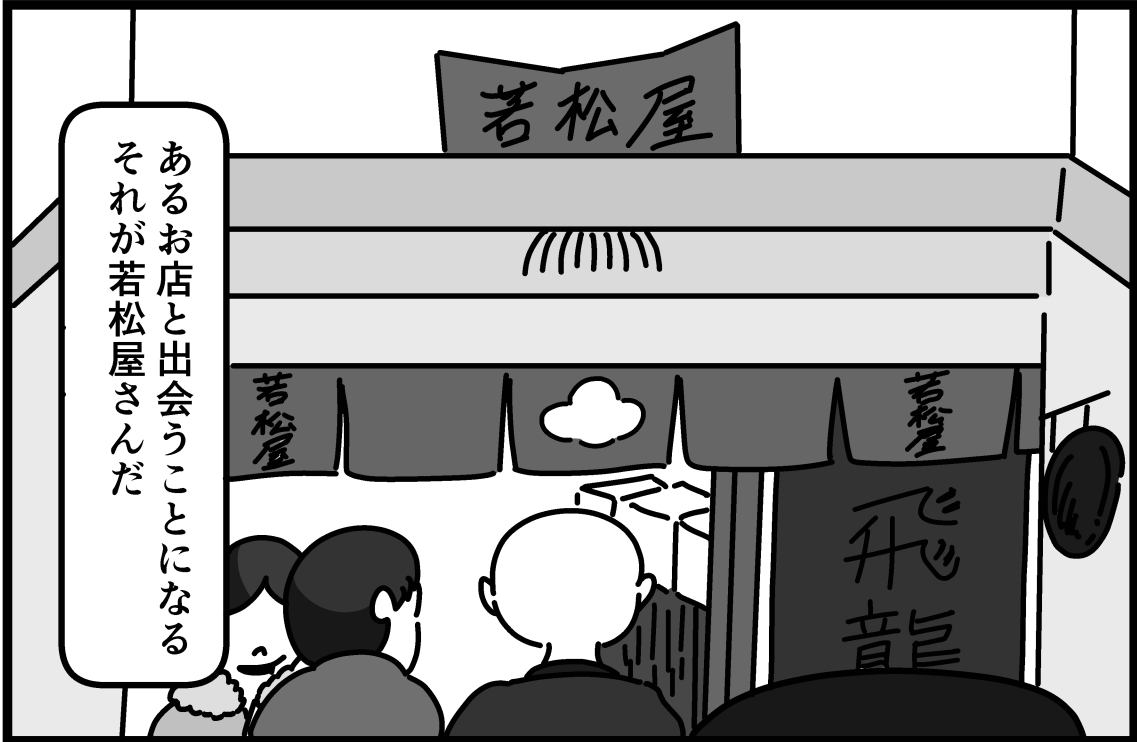
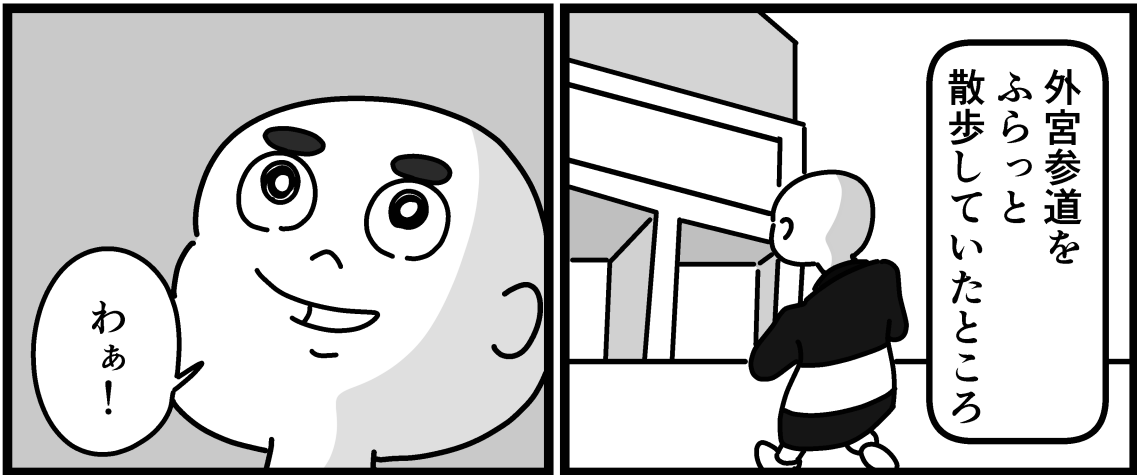
そして  
展示が  
決まったの  
だった



市役所の  
方々は  
とても  
親切で  
こちらの  
意見を  
受け入れて  
くれた



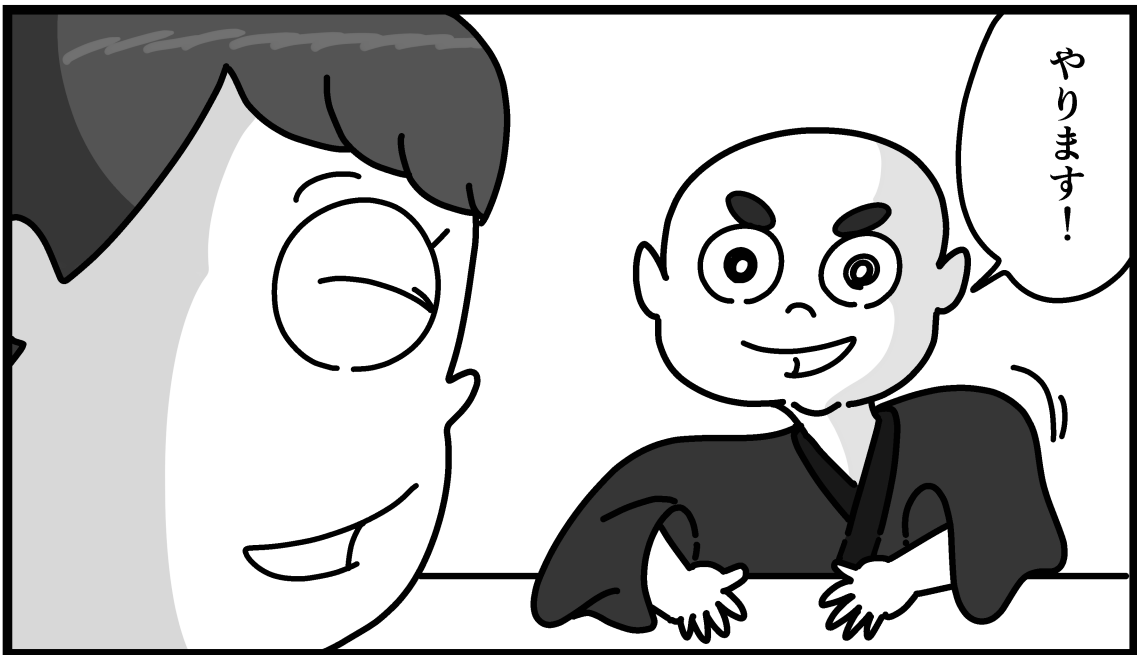
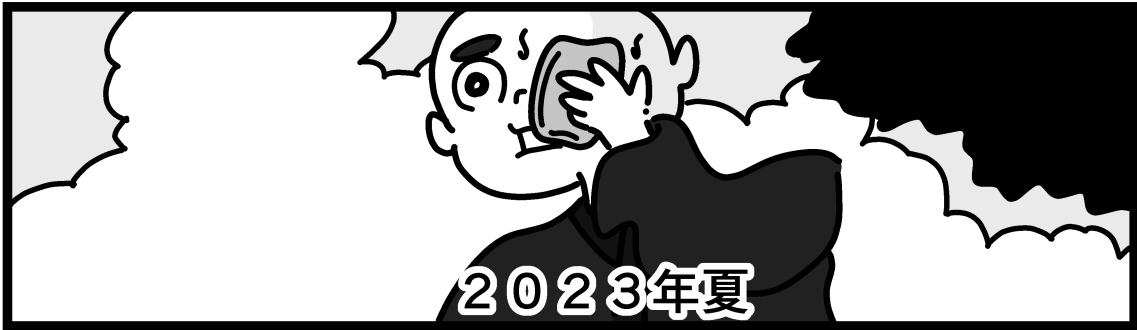


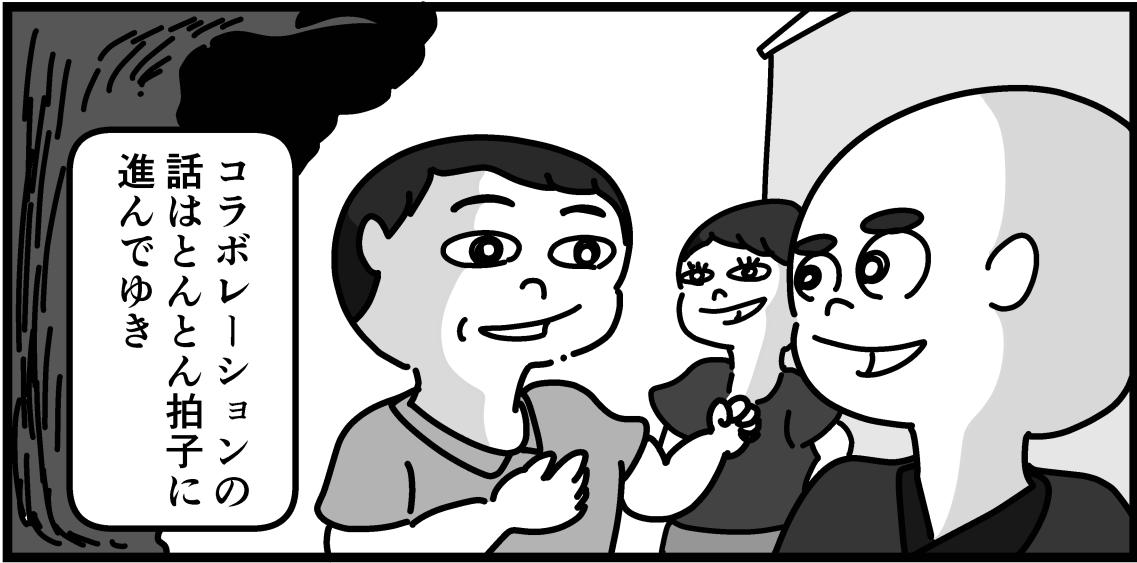




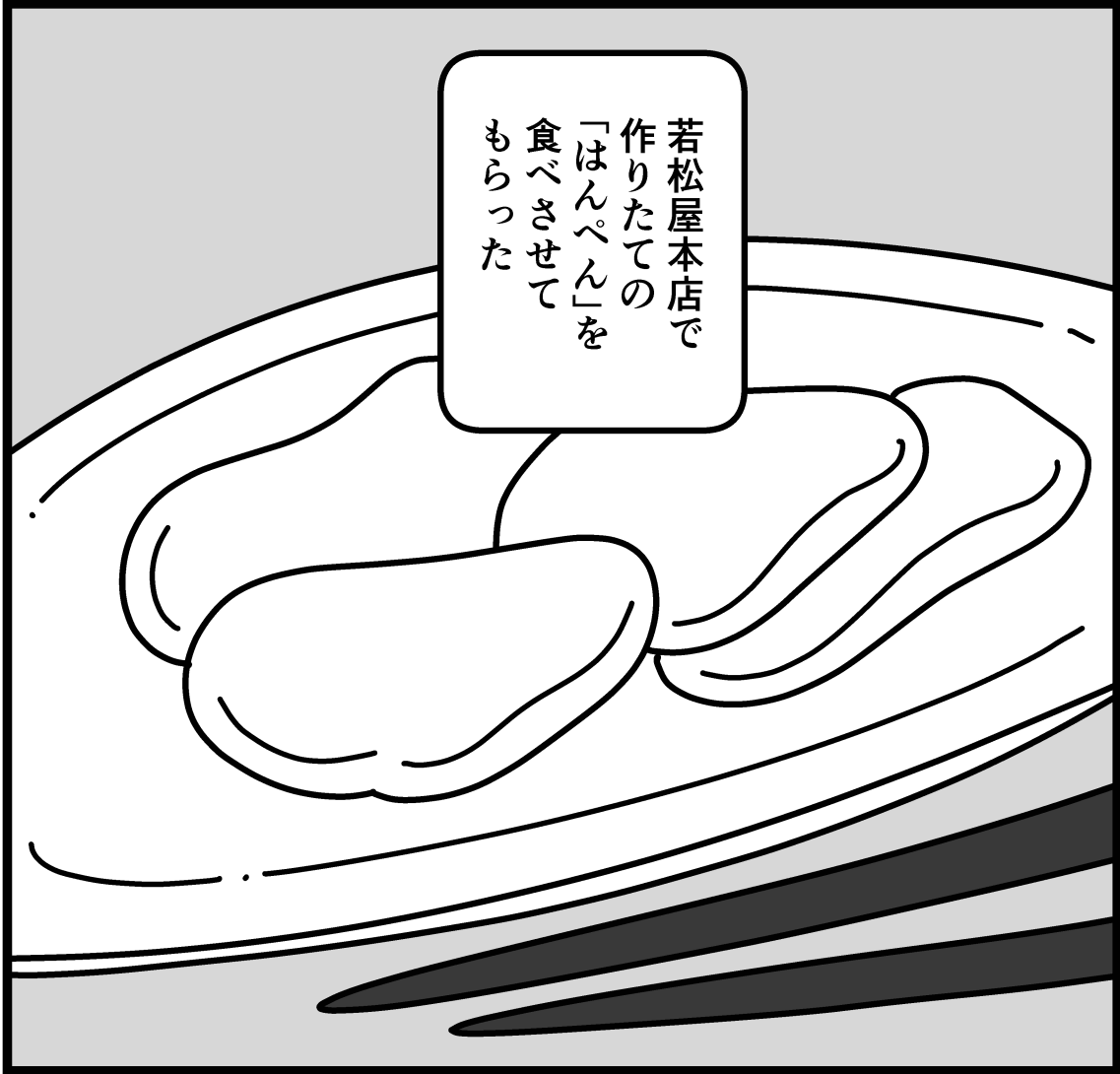
明治38年の創業以来  
伊勢神宮のお膝元で  
本物の練り物作りと  
その旨さを伝え続けてきた  
お店である





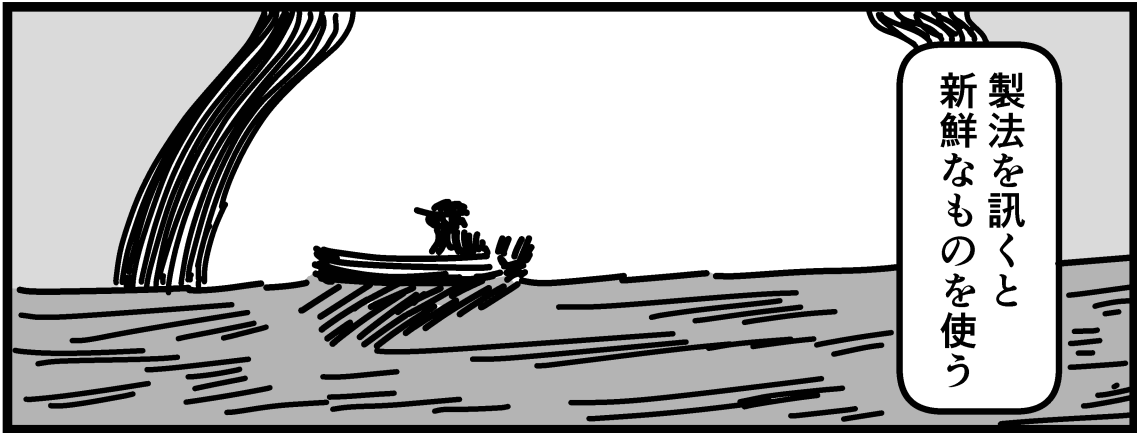


コラボレーションの  
話ほとんどん拍子に  
進んでゆき

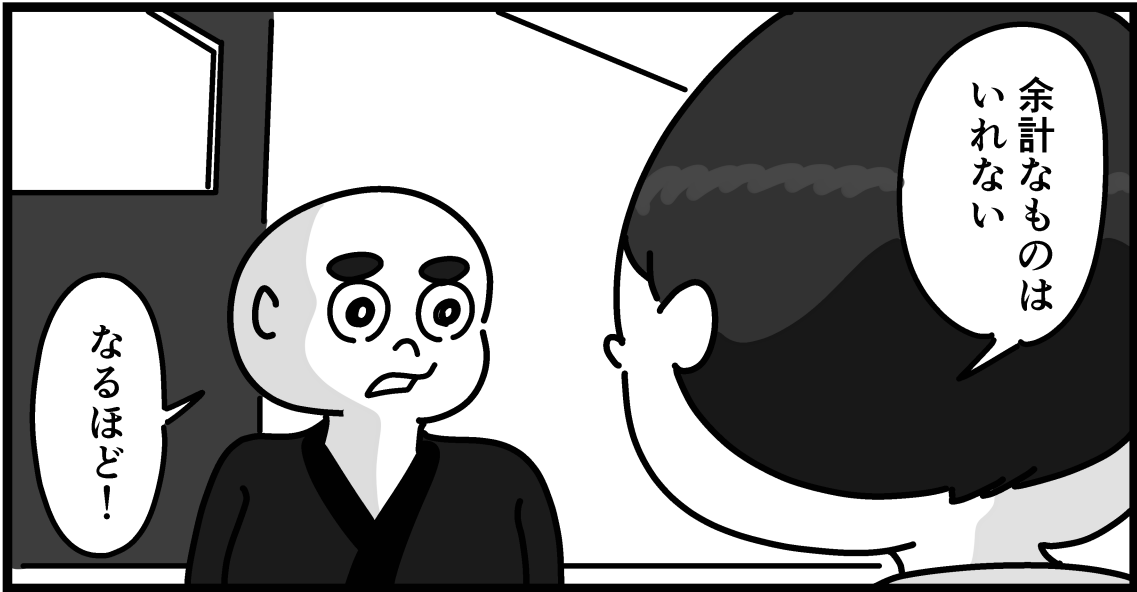


若松屋本店で  
作りたての  
「はんぺん」を  
食べさせて  
もらった



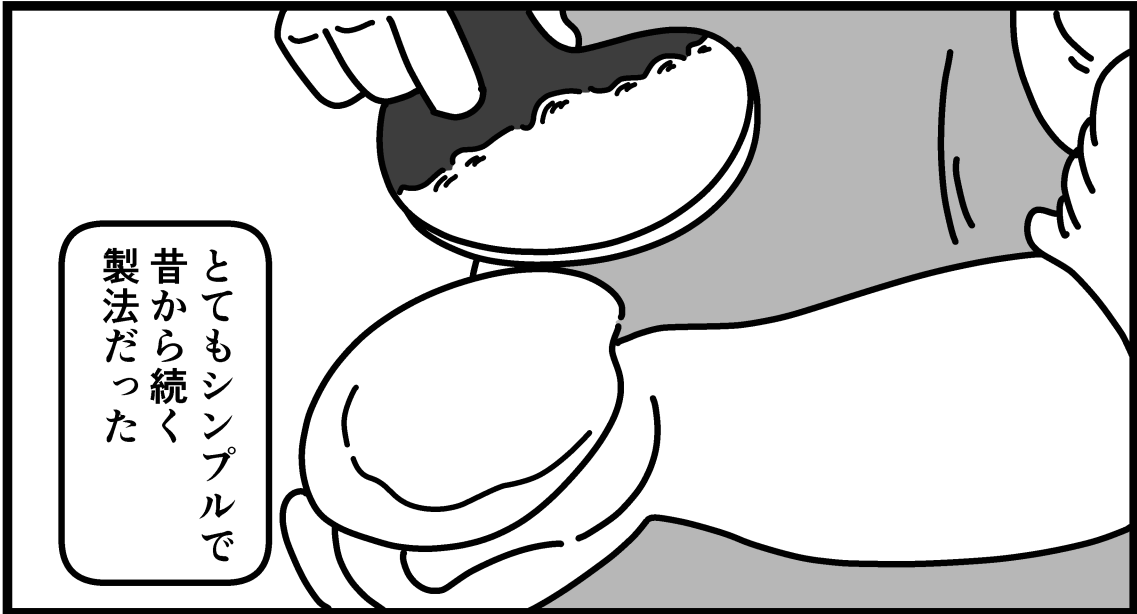


製法を訊くと  
新鮮なものを使う



なるほど！

余計なものは  
いれない



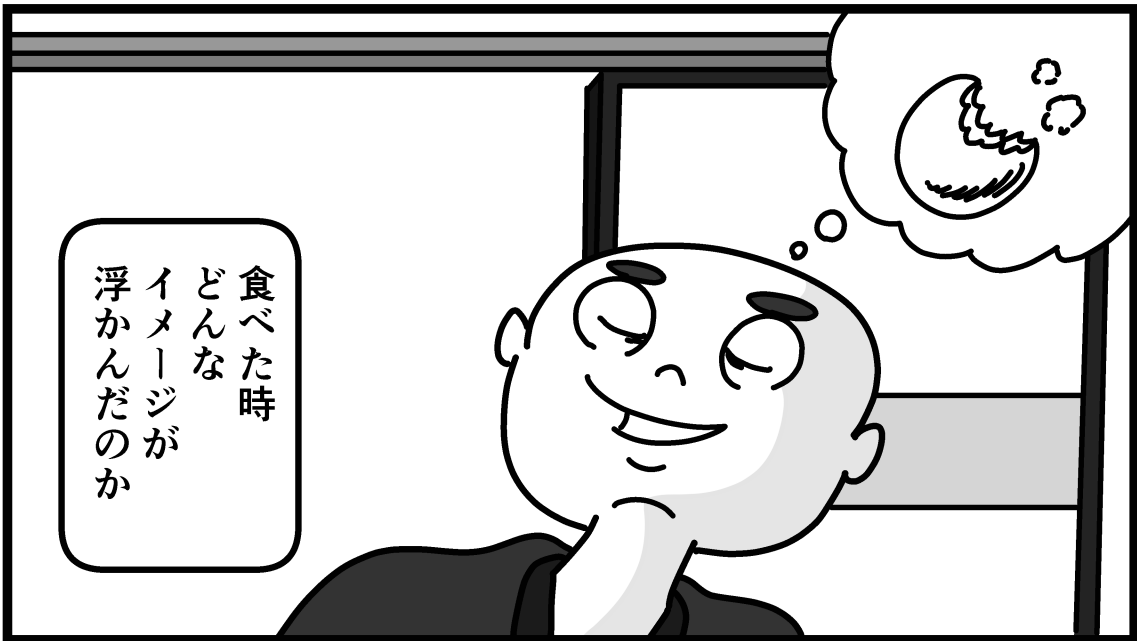
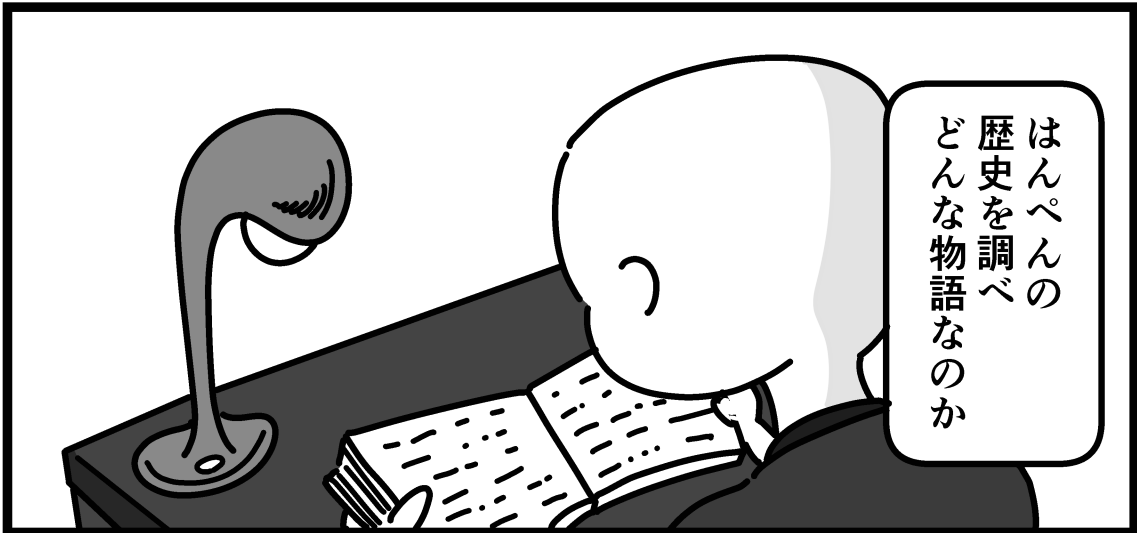
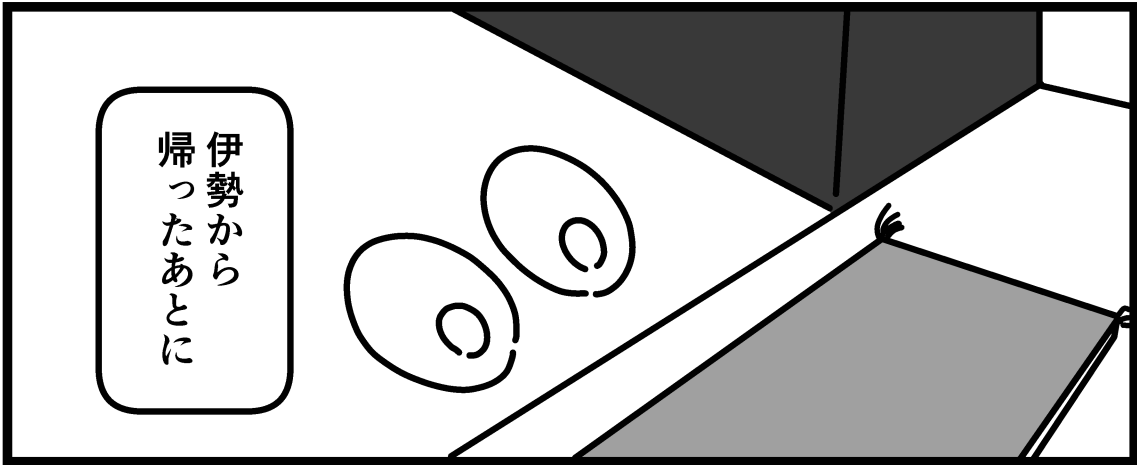
とてもシンプルで  
昔から続く  
製法だった

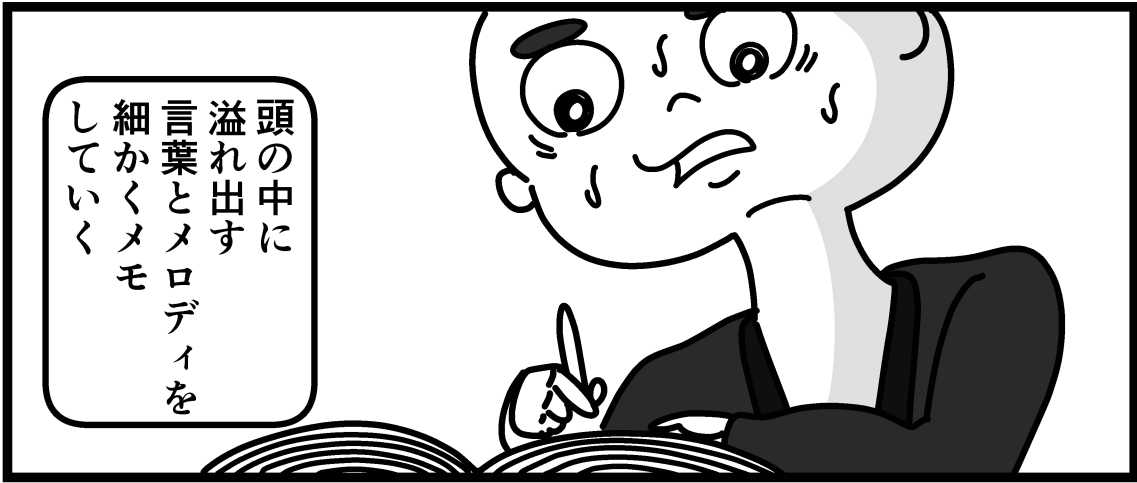


「この作品に見合う  
音楽を創ろう」と  
その場で決心  
したのであった

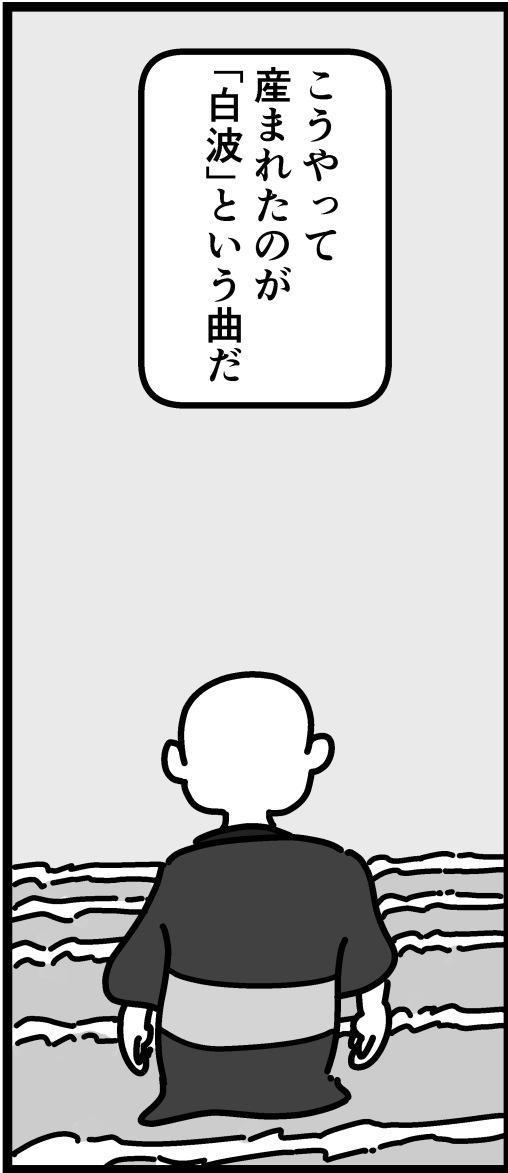
ぼくはこの  
「はんぺん」に  
とても感動して







頭の中に  
溢れ出す  
言葉とメロディを  
細かくメモ  
していく

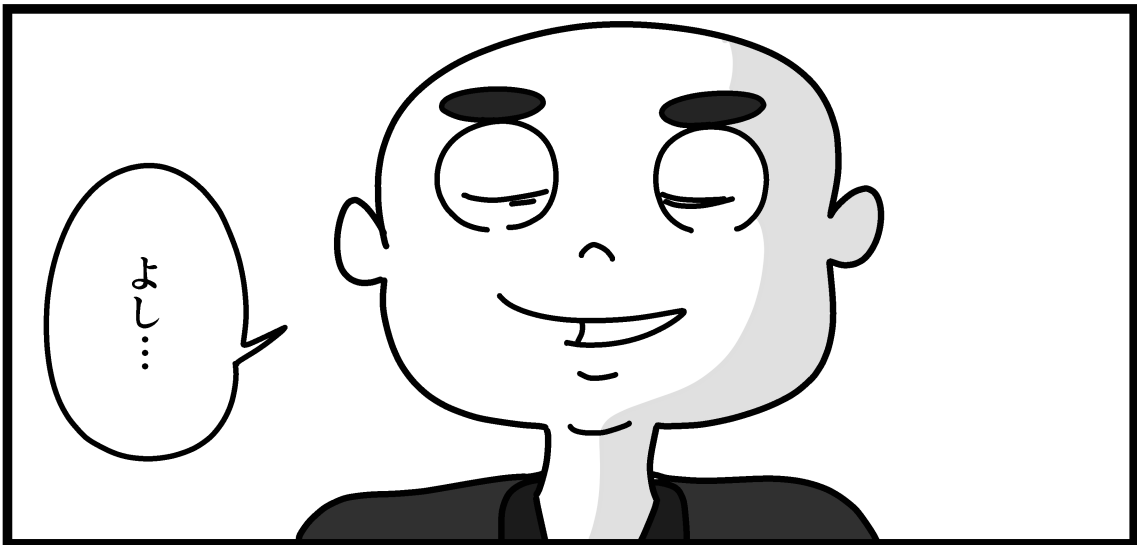
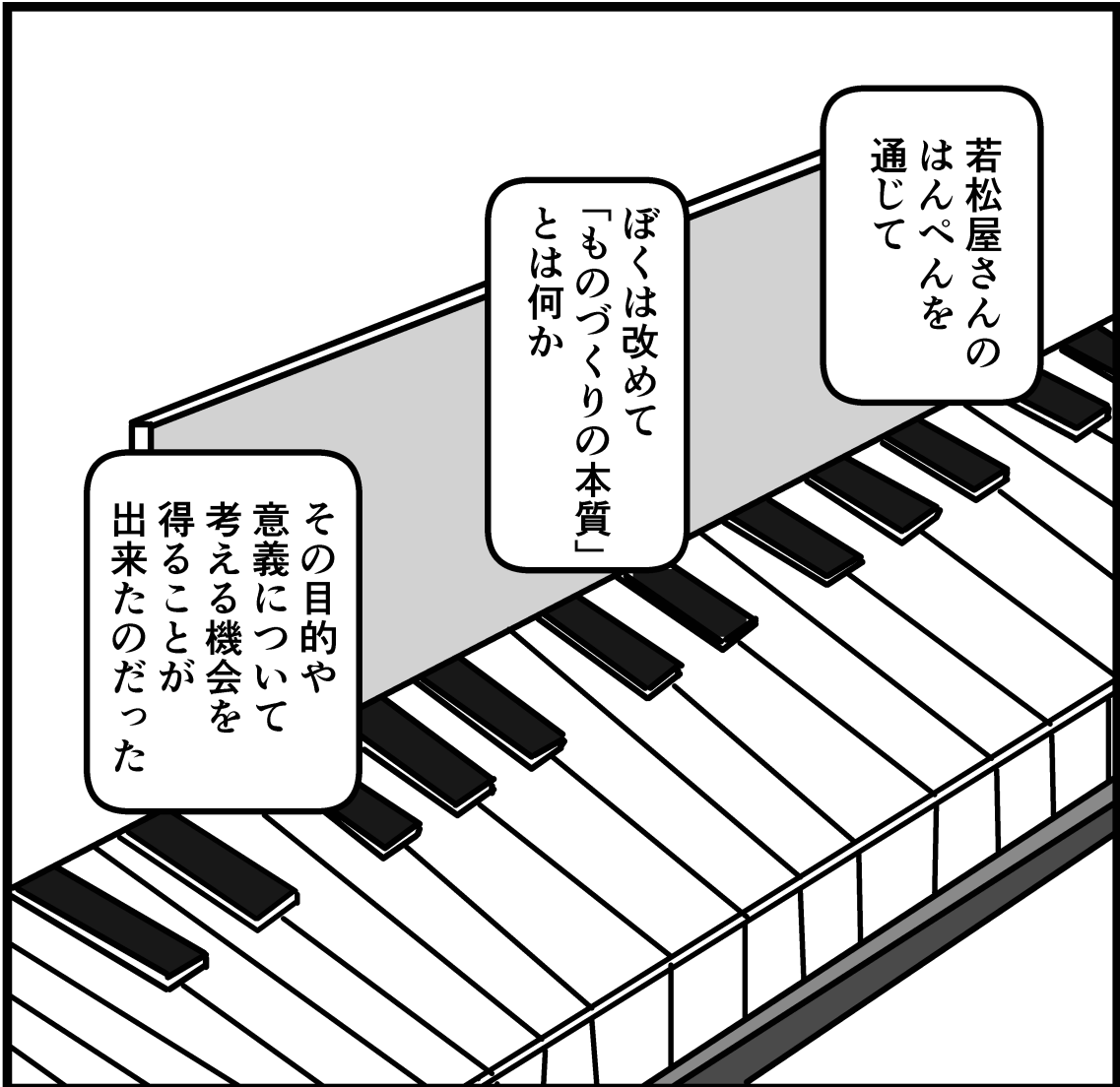


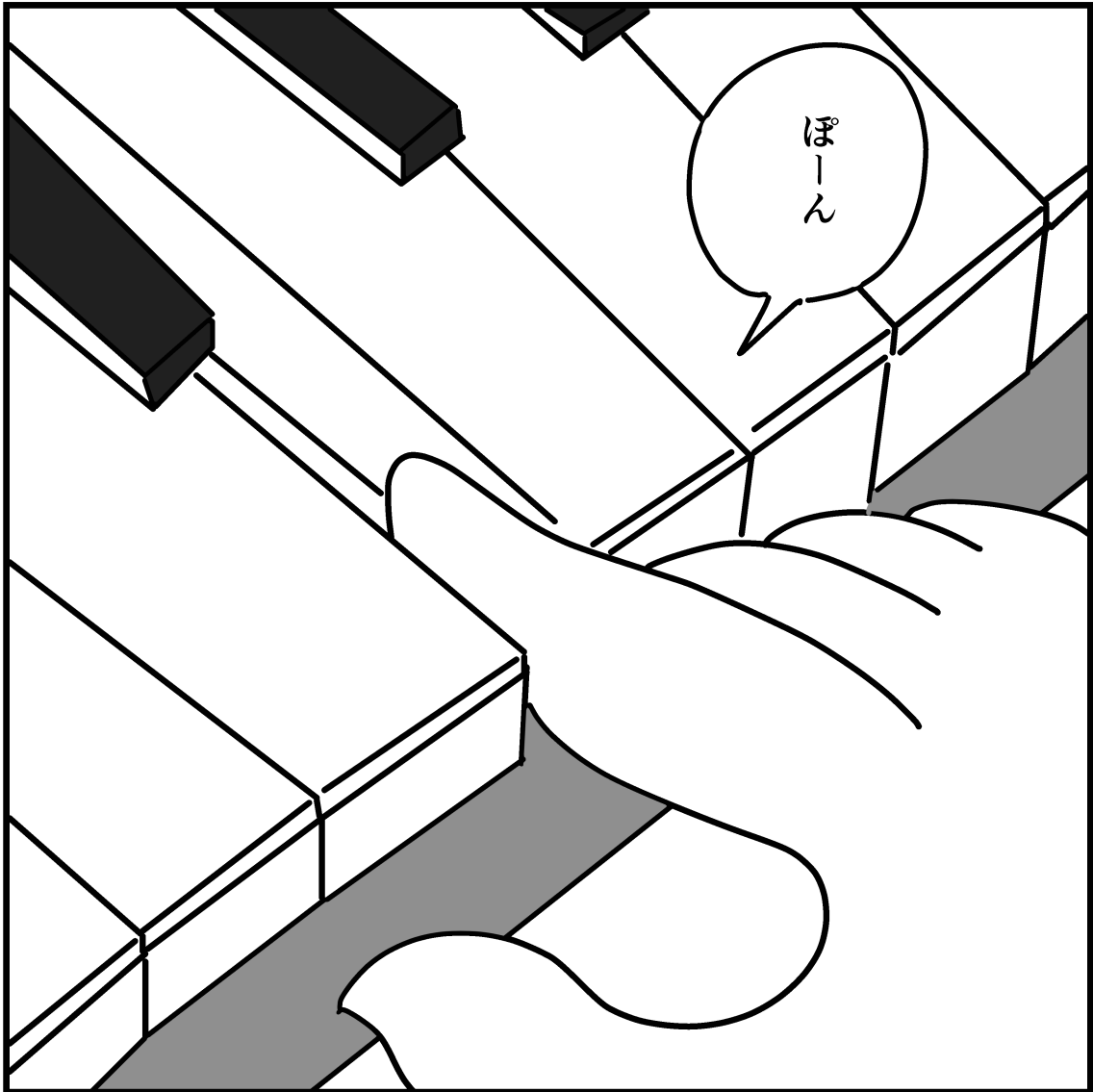
こうやって  
産まれたのが  
「白波」という曲だ



そして  
「海そのものが  
はんぺんという形に  
生まれ変わった」

という  
結論に  
辿り着いた！





おしまい

こんにちは。Ryo Fujimotoです。

この漫画は、はんぺんの物語ですが  
「何故、伊勢市の方々と関わるようになったのか」  
そんな回想シーンから始まります。

井原宏蒨さんと共に伊勢に足を運ばせて頂き、  
市役所の方々と何度もお話しさせて頂きました。  
そこには多くの出逢い、積み重ねられた言葉の数々が在ります。

改めて、伊勢市長、伊勢市役所文化政策課の皆さま、河崎商人館の皆さま、  
若松屋さん、井原宏蒨さん、金子未弥さん、松尾たいこさん、石崎さん、

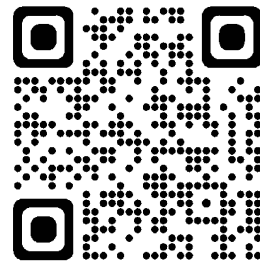
そして、この漫画を描いてくださった  
電気こうたろうさんに深く御礼を申し上げます。

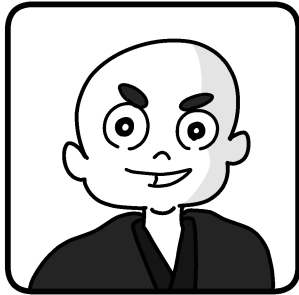
若松屋さんとのコラボレーションにより生まれた楽曲「白波」  
是非ともQRコードを読み取って聴いてみてくださいね。

素敵な日々をお過ごしください。

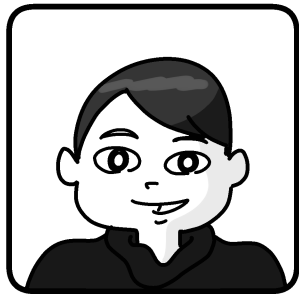
伊勢市クリエイターズエキシビション 2023

若松屋 × Ryo Fujimoto





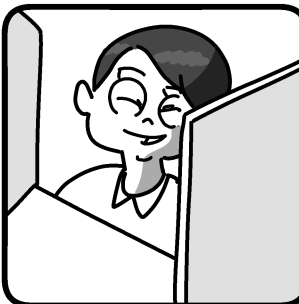
Ryo Fujimoto  
サウンドアーティスト



井原 宏路  
彫刻家



若松屋



伊勢市役所の方  
文化政策課



電気こうたろう  
漫画家

